

●ただでさえ進行が遅れていたのに、8月に入ってから追加調査にでかけてしまい、ために発行が遅くなってしまいました。さらには原稿書く段階になって「小口挟み」の分布の謎を解く鍵になりそうなことを発見してしまい、しかしそれを書き尽くすには時間が足らなすぎる、ということで誠に中途半端なことになってしまったのでした。申し訳ありません。次号で多少はスッキリさせます。

スッキリといえば、去年の今頃から急激に悪くなった体調が1年経っても完治してません。一頃に比べればマシになった気はしますが、今度は腹に四六時中何かが溜まっているような感覚に悩まされ中。「もうだめかもわからんね」という諦めを抱えて一箇年も経過したらなんだかどうでもよくなってきました。(な)

●東北に住んでるため、「天井川」というものに馴染みがない。

授業で習った時も「そんな地形が本当に実在するのだろうか」、と疑ったくらいだった(笑)。

その横腹に穴を掘ってトンネルを通すなど、絶対にやってはならぬことで、ひとたび穴を開けてしまったら、川の底が抜けて大惨事になってしまうではないか。と本気で心配したりもした。

実は今でも「住宅の屋根より高い位置に川の水面がある」、という現実を受け入れられないでいる(笑)。(つ)